

◆団体基本情報

No.	24	種別	株式会社	団体名	仙台ガスサービス株式会社		
所在地	〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12番15号						
電話番号	022-792-6611		FAX番号	022-792-6622		所管 部局	ガス局 総務課
団体ホームページ	https://www.sgs-ip.net						
代表者職氏名	代表取締役社長 佐藤 和美			設立年月日	昭和41年10月26日		
資本金・基本財産	10,000 千円		市の出捐額(割合)	10,000 千円		(100.0%)	
設立 目的	仙台市ガス事業発展に寄与する事業を営むことを目的とする。						
事業 概要	ガス器具の販売。ガス器具の修理。ガス設備の設計及び取付工事の施行。ガス配管工事の設計及び工事の施行。ガス器具、設備の保守サービス業務。住宅設備の請負及び企画、設計並びに監理業務。住宅機器の販売及び取付工事の施行。収納に関する業務及び巡回サービス業務等仙台市ガス局より委託される業務。						
評価対象決算期	令和4年4月1日～令和5年3月31日						

◆人員等の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①常勤役員数	3 人	3 人	3 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	2 人	2 人	1 人
②常勤役員平均年齢	62.0 歳	63.0 歳	57.7 歳
③常勤役員平均年間報酬	6,205 千円	6,183 千円	5,136 千円
④職員数	101 人	100 人	100 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	1 人	0 人	1 人
⑤職員平均年齢	46.7 歳	47.5 歳	47.5 歳
⑥職員平均年間給与	3,466 千円	3,427 千円	3,414 千円

◆主要財務データ

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①営業利益	79,832 千円	11,568 千円	97,060 千円
②経常利益	83,785 千円	12,519 千円	96,830 千円
③当期純利益(税引後)	41,667 千円	3,304 千円	43,337 千円
④繰越利益剰余金	111,585 千円	114,589 千円	157,826 千円
⑤利益剰余金	294,085 千円	297,089 千円	340,326 千円
⑥資本金	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円
⑦純資産	304,085 千円	307,089 千円	350,326 千円
⑧長期借入金残高	53,500 千円	38,000 千円	26,000 千円

◆市の財政的関与

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①市からの補助金	0 千円	0 千円	0 千円
②市からの委託料(指定管理料含む)	551,692 千円	452,974 千円	493,468 千円
③市に対する収入依存度	33.51 %	28.65 %	28.08 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和4年度事業費
器具販売・取付	ガス器具, リフォーム関連商品, 住宅設備機器商品, ガス用品, ガス部材等の販売取付業務	222,171 千円
ガス工事	住宅, ビル, マンション等のガス工事の見積, 設計, 施工, 現場管理, 受注等の業務	55,506 千円
器具修理	主にガス器具の修理業務	6,276 千円
受託業務	収納に関する業務, 保安点検業務等仙台市ガス局から委託される業務	331,443 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	仙台市ガス局の出資会社として、「ガス局と一体となったお客さまサービス」を目指し、ガス機器の販売やガス工事の受注等による都市ガス離脱防止や都市ガス顧客拡大に努めるとともに、公益的役割を担うために求められる適正な業務運営体制について強化を図っている。	ガス器具等販売を主要業務とし、都市ガスの普及に貢献している。公益的使命を担う出資会社として、市民の信頼やニーズを踏まえた事業展開と適切な業務運営に向け、さらなる取り組みを進めてほしい。
2. 業務・組織管理	年度計画を部門毎に立案の上、進行管理会議の開催や取締役会への業務達成状況報告等を通じたチェックと指導等を行ってきた。また、社内の不正を防止し、適正に業務を運営していくため、売上金取扱い管理方法や経理事務関連の改善、対策を講じている。	引き続き、計画的かつ着実な事業活動に取り組むとともに、不断の業務改善や管理部門の体制強化、コンプライアンス意識の浸透・定着に向けた取り組みを推進してほしい。
3. 財務状況	ガス器具販売強化、経営効率化などを推進し、健全な財務運営に努める。	販売力強化、経営効率化などにより収益力を高めるなど、抜本的な経営改善に努めていただきたい。
4. 今後の方向性及び課題	当社が掲げる「お客さまに信頼される企業となる」という基本理念を堅持し、令和5年度計画の実現に向け、「販売促進企画会議」等のさらなる強化を図るべく、新たに設置した「営業企画推進本部」を中心に①震災から12年経過し機器の更新時期を迎えるお客さまをターゲットとした販売活動、②ガス局と連携したガス機器の販売拡大、③製品納期遅延対策の推進、④人材育成・資格取得促進について組織横断的な協議を行い、全社のベクトルを統一し活動を展開する。また、新型コロナウイルス感染症対策としては、5類移行後も感染リスクは高い状態にあることから、引き続き基本的な感染予防対策事項（毎日の検温・健康状態の確認と記録、事務所内のこまめな換気と消毒など）を徹底して行い、従業員の安全と健康の確保並びに事業活動に及ぼすリスク低減に努める。引き続き、お客さまの視点に立った最適なサービスの提供と確実に質の高い業務遂行に、より一層の力を注ぐとともに、仙台市ガス局の100%出資会社として、ガス局と連携し、引き続き都市ガスの普及促進と安全供給の推進に貢献していく。	公益的使命を念頭に置いた業務運営に努めるとともに、現在の社会情勢等をふまえた事業環境の変化及び、お客さまのニーズを的確に捉えながら、販売の拡大、さらには経営基盤の強化を図られたい。